

# 地 域 再 生 計 画

## 1 地域再生計画の名称

美しく快適な水辺の里づくり計画

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

唐津市

## 3 地域再生計画の区域

唐津市の区域の一部（北波多地区）

## 4 地域再生計画の目標

### （１）背景

唐津市は、佐賀県の北西部に位置し、東は福岡県、西は長崎県、南は多久市、武雄市、伊万里市に接し、北は玄界灘に面した沿岸地域であります。県内では、佐賀市に次ぐ第２の都市であり県北部の中心都市として発展しています。

この北部地域は、リアス式海岸線、七ツ釜や虹の松原（特別名勝）等の景観・自然環境を有し、玄海国定公園にも指定されており、歴史的にも日本で最初に大陸から稲作文化が伝えられるなど、古くから大陸との交流により栄えてきました。また、特別史跡「名護屋城跡並びに陣跡」、唐津くんちなど多彩な歴史的、文化的遺産を有しています。

南部から東部地域については、背振・天山山系の森林地域となっており、西部は台地を形成しています。市域全体としては、総じて丘陵地や山地が多くを占めこれらの山々を源として松浦川等の河川が玄界灘に流れ込み、山から海まで良好な自然環境を有している地域です。

唐津市は、ＪＲ筑肥線、国道２０２号、西九州道路の整備に伴い福岡都市圏との結びつきも強くなり、豊かな自然や歴史・文化を活かした観光等の振興により拠点都市としての発展を目指しています。

現在の唐津市は、平成１７年１月１日の市町村合併により以前の唐津市、呼子町、鎮西町、肥前町、北波多村、相知町、巖木町、浜玉町の１市６町１村が合併して誕生しています。合併した新唐津市の基本理念として、本地域には、風光明媚な自然、歴史と伝統に育まれた豊かな文化があり、それぞれの地域の食文化、焼き物、祭りなどの資源を活かし、個性が失われることなく、輝き続ける「本物のまちづくり」を目指し、また、新しい雇用を創出することにより、「活力あるまちづくり」を目指

すため、【響創（きょうそう）のまちづくり】をテーマに掲げて新市の建設に取り組んでいます。

今回、地域再生計画を策定する本市北波多地区も古くから大陸文化の影響を受け、交流が盛んに行われていました。また唐津焼の発祥の地として中世からの歴史を感じさせ、この地域の中央部は一級河川松浦川水系徳須恵川が貫流し、その周囲は松浦党の礎を築いた「波多氏」の居城があった岸岳を始めとする山並みと田園地帯の緑の里として地域住民はもとより来訪する人々からも親しまれている地域です。

## （２） 意義

本市北波多地区は、この残された水と緑の保全を計画的に推進するとともに居住環境の整備、公園・緑地の整備、上下水道の整備などを包括的に実施しています。このため点在する水と緑の拠点をもとに点と線で結び付けネットワーク化することにより、生活環境の保全、自然環境の保全を柱にした環境教育にも取り組み、この地域の市民に潤いや安らぎを与えるとともに、他の人々に水と緑に親しむ空間が広がる里というイメージを観光資源としても活かすことで、集客できる地域として再生できることを考えています。

## （３） 目標

本市北波多地区は平成 17 年 1 月 1 日、唐津市と近隣 6 町と市町村合併を行ったが、合併前に策定した総合計画では北波多村の将来像として、緑豊かな自然と人との共生、地域をかたちづくる人と人との共生、そして古く海を渡り大陸との交流の歴史を持ち、新しく広がる国際交流の上にかたちづくる人と人、地域と地域との交流、そのひとつひとつが新しい発展の歴史を築いて行くと考え、「共生と交流で創る 21 世紀のふるさと」を提唱しています。具体的には、平成 14 年 3 月には、「北波多村中央部開発地区市街地環境整備総合計画」を策定し、都市基盤整備を促進してきたところです。

この理念のもと都市基盤整備においては、西九州自動車道の北波多インターにかかわるアクセス道の整備、公営住宅の整備・分譲住宅地の開発、唐津市民病院「きたはた」の新設による保健医療機関の充実を図り、市民に親しまれる公園・緑地整備を含めた中央部開発事業に取り組み、定住促進と住みよいまちづくりを行っています。

このような住みよいまちづくりを行うためには、地域住民の良好な生活環境の創出に重要な施策である下水道整備の推進による公共用水域の水質保全、廃棄物対策・リサイクル推進、生活環境保全対策の推進、環境教育の推進、自然環境保全等の環境に配慮したまちづくりが不可欠で

す。また、「岸岳古窯跡」「岸岳城址」「波多城址」「瑞巖寺跡」のような歴史的文化的文化遺産とともに、希少動植物など特徴ある自然環境を生かし、これを後世に伝えるためのシステムとして「エコミュージアム」の具現化も目指しています。特に水辺環境については、水辺の楽校整備事業による水環境に親しむ拠点を整備し、市民団体による「かっぱ塾」による創設でカー教室や様々なイベントを実施し活動を続け現在に至っているところです。

これらの拠点整備後、地域内にある水と緑の点在する施設をネットワーク化し、より市民に親しまれ、市外の人たちにも魅力ある場所として認識できるよう構成する予定です。

今回の地域再生計画は、上記のような、これまでの取り組みと連携しながら、唐津市北波多地区（旧北波多村）全域を対象とする都市基盤整備の一環として申請するものであり、水と緑に代表される北波多の生活環境の改善、公共用水域の保全のために、「污水处理施設整備交付金」の支援措置を活用し地域住民が住み良いまちづくりを行いたいと考えています。

なお、地域再生計画の目標としては、公共用水域の水質保全のための污水处理人口普及率の向上を次のように設定します。

【平成17年3月31日現在】

污水处理人口普及率 58%（北波多地区）

【平成21年度末目標値】

污水处理人口普及率 98%（北波多地区）

（5年間に污水处理人口普及率を40ポイント向上させる。）

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

本市、北波多地区の公共下水道計画は、特定環境保全公共下水道事業として、全体計画を目標年次平成23年度、計画処理区域147ha、計画処理区域内人口4,500人、1日2,600m<sup>3</sup>/日で、下水道法第4条第1項の規定に基づく事業認可を平成16年9月2日付け、佐賀県指令16下水道第8号により佐賀県知事から認可を受けています。現在、処理場・下水道管渠の整備を鋭意推進しているところです。また、供用開始は平成16年3月31日に行い水洗化の普及に努めています。

浄化槽事業については、平成15年度まで環境省所管の浄化槽設置整備事業を活用していましたが、公共用水域の水質保全を早急に図る目的から、平成16年度より浄化槽市町村整備推進事業に移行したものです。平成16年度の実績設置基数は25基です。今後、対象となる設置基数85基のうち80基を整備するものです。

5 - 2 法第4章の特別の措置を活用して行う事業の概要

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

A3002 地域再生基盤強化交付金（汚水処理施設整備交付金）

1 事業主体

特定環境保全公共下水道	唐津市
浄化槽（市町村設置型）	唐津市

2 施設の種類の種類

特定環境保全公共下水道	汚水処理場、汚水管渠
浄化槽（市町村設置型）	浄化槽

3 事業区域

特定環境保全公共下水道事業	唐津市徳須恵処理区
浄化槽（市町村設置型）	唐津市北波多地区

4 事業期間

特定環境保全公共下水道	平成17年度～平成21年度
浄化槽（市町村設置型）	平成17年度～平成20年度

5 事業費

総事業費	1,623,684千円	（うち交付金	730,616千円）
特定環境保全公共下水道	事業費	1,530,700千円	
		（うち単独	149,700千円）
		（うち交付金	702,300千円）
浄化槽（市町村設置型）	事業費	92,980千円	
		（うち単独	8,032千円）
		（うち交付金	28,316千円）

6 整備量（目標を達成するために行う事業）

・特定環境保全公共下水道	処理人口	1,500人
	汚水処理場(汚水処理施設	900m <sup>3</sup> /日 1池)
	管渠工	12,500m 面整備 5.8ha
	測量試験費、補償費	
・浄化槽（市町村設置型）	浄化槽設置基数	80基
	処理人口	310人

5 - 3 その他の事業

・中央部開発事業

公営住宅・宅地開発に伴う定住化による人口増

主要地方道である県道・唐津北波多線の沿道に104戸の住宅を建設することで、約350人の人口増加が見込まれ、唐津市北波多地区

(旧北波多村)の活性化が期待される。

保健医療機関の充実に伴う住民の健康増進

既存の特別養護老人ホーム「ちぐさの」及びデイサービスセンター「きたはた」で形成される福祉ゾーンと、上記のような住宅ゾーンとの密接な連携により、「シルバービレッジ」の形成を促進し、高齢者を含めたファミリー層の定住促進を促す。

商業地集積による地域経済の活性化

開発区域内に商業集積ゾーンを設け、居住者の買い物の利便性を向上させ、それに伴う人口増によってさらに商業施設が活性化していくという、一層の相乗効果を期待できる。

緑地・公園整備による住環境の快適化

県道・唐津北波多線の沿道に並木や生け垣などが連続する緑やまちかど広場を整備し、村が目指す安らぎや安心感と、潤いのある地域環境の整備を継続して行う。

・ エコミュージアムの具現化

上記のような生活環境の創出と併せて、唐津市北波多地区(旧北波多村)の自然環境や歴史遺産を後世に伝えるための「エコミュージアム」の具現化を目指す。

6 計画期間

平成17年度～平成21年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

污水处理人口整備率は、唐津市北波多地区の人口に対して、污水处理施設の利用が可能な人口をもって定量的な数値が算出されるため、計画終了段階の平成22年度に唐津市において、客観的な目標達成の評価を行う。

・ 公共下水道計画処理区域内人口(平成17年3月31日現在)	3,950人
污水处理人口(平成17年3月31日現在)	2,300人
目標污水处理人口(平成21年度末)	3,870人【98%】
・ 浄化槽整備対象地域污水处理人口	430人(110基)
整備済污水处理人口(平成17年3月31日現在)	105人(25基)
目標浄化槽污水处理人口	415人(105基)【97%】

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし